

神奈川県民ホール「リニューアルオープン」 及び 「ポスターで見る神奈川県民ホールの40年展」のご案内

昨年12月より改修工事のため休館していた神奈川県民ホール（注）は、来月10月1日よりリニューアルオープンします。それに伴い、そして来年1月の開館40周年を記念し、これまでに行われた代表的な公演と展覧会のポスターを、神奈川県庁本庁舎と新庁舎を結ぶ4階渡り廊下に展示しています。

（注）正式名称 神奈川県立県民ホール

1. 改修工事＆リニューアルオープン



平成24（2012）年に来場者数が2,500万人を超える、今回の改修で施設の安全性と快適性を向上させました。
スタッフの接遇研修も行い、ソフト面でもより一層の充実を図りました。

改修工事期間： 平成25（2013）年12月2日から平成26（2014）年9月末

主な改修箇所： 耐震補強 屋上防水 外壁補修 壁・天井の再塗装 階段手すり増設
大ホール1階座席レイアウト変更 カーペット張り替え エレベーター
の更新 女性トイレ増設 ドリンクサービスカウンター増設 など

リニューアルオープン： 平成26（2014）年10月1日（水）

2. ポスターで見る神奈川県民ホールの40年展



施設稼働率80%以上を誇る神奈川県民ホールは、ポップスやエンターテイメント系の催しだけではなく、バレエ、クラシック、オペラなど舞台芸術の殿堂としても全国的に知られる存在です。その歴史の一端を展示しました。

場所： 神奈川県庁本庁舎と新庁舎を結ぶ4階渡り廊下

時間： 9月18日～10月8日 平日 8時30～17時15分 無料（最終日は15時まで）

展示ポスター： 県民ホール及びギャラリー主催・共催公演・展覧会より抜粋した28点

例）二期会『蝶々夫人』（75）、『現代彫刻の歩み』展（80）、松山バレエ団『白鳥の湖』（82）、ベルリン・ドイツ・オペラ『ニーベルングの指輪』（87）、ミラノ・スカラ座『ラ・ボエーム』（88）、パリ・オペラ座バレエ団1995年来日公演（95）、勅使川原三郎+KARAS『I was Real—Documents』（97）、ウィーン国立歌劇場『フィデリオ』（08）他

◎神奈川県民ホール



神奈川県民ホールは大・小のホール、ギャラリー、会議室を備えた公立文化施設として、昭和50（1975）年1月17日に開館しました。

以来39年間、県民の芸術鑑賞の場として、文化活動の発表の場として、神奈川の芸術文化の振興を担ってきました。

これまで大・小ホールでは15,000回を超える催しが行われ、ギャラリーでは約3,800の展覧会が行われています。平成24（2012）年には入場者数累計が2,500万人を突破しました。開館時から現在まで80%以上の施設稼働率を誇り、全国平均を大幅に上回る数字を今まで維持し続けています。

来年1月で開館から40年を迎えるが、今なお日本屈指の大型文化施設として広く親しまれています。

◎リニューアル記念公演

マーラー交響曲第8番「千人の交響曲」 2014年10月5日（日）15時 大ホール

<http://www.kanagawa-kenminhall.com/detail?id=32558>



■お問い合わせ先

神奈川県民ホール 9時～17時

（代表）045-662-5901